

学校園訪問レポート

年月日	令和5年3月15日（水）高丘西小学校		
訪問委員	橋本教育委員	随行者	小島学校教育課長

訪問先	訪問内容	学校の特徴・課題等	委員感想・意見
高丘中学校	<p style="text-align: center;">校内視察 及び 授業参観</p>	<p>□児童数 460名（1年63名、2年81名、3年77名、4年58名、5年95名、6年76名、特支10名）</p> <p>○学校の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昭和40年代後半、宅地開発により児童数が急増。昭和51年開校（高丘中と高丘東小は前年に開校。）その後、地域の高齢化が進み、児童数が減少。現在は各学年3クラス前後で推移している。 ・2021年度（令和2年度）より、高丘中校区（高丘中、高丘東小、高丘西小）で『高丘小中一貫教育校』がスタートした。 <p>○児童の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記児童数は5月1日現在。現時点では469名になっており、年度途中の転入が多い。（学年は関係なし。） ・年度途中転入の家庭は、何かしらの課題を抱えていることが多い。 ・不登校児童も多い。「学校に行かせよう」という姿勢を持たない家庭も多くある。ケース会議を開いても、なかなか状況を理解してもらえない。 <p>○授業参観</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年国語「はなさかじいさん」⇒5年国語「わたしの文章見本帳」をつくらう⇒4年理科「水のゆくえ」（理科室）⇒6年卒業式練習（体育館） <p>○教育課程の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・短焦点固定式プロジェクターが市内小学校に先駆けて、昨年度から各教室に設置されている。高丘中同様、教師が授業においてICT機器と黒板・チョークをバランスよく活用している。 ・今年度は高丘中の美術教諭が、図工の授業を一部受け持った。先日、6年児童が参加した中学校入学説明会において、美術教諭が説明する時は明らかに児童たちの反応が違った。『中1ギャップ』解消の一つの手がかりになるかもしれない。 <p style="text-align: center;">校長と 面談</p> <p>○小中一貫教育校の取組及び課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中学校の9年間でどのような学びができるのか、話し合いを重ね、今後の方向性を検討している。 ・第三者に「小中一貫教育校で具体的に、何ができるのか。」ということの説明できるように考えていかねばならない。 ・併設型一貫校は、児童生徒が普段から顔を合わせる機会が少ない等、難しい面がある。しかし、そのような課題を克服していけば今後の方向性も見えてくる可能性がある。 ・小中連携とともに小小連携も重要である。東小と西小の教頭どうし意識して連携を進めている。 <p>○高等学校との交流及び連携について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6年生のプログラミング学習、3年生の環境学習（ため池）の際、高校生がゲストティーチャーとして小学生に勉強を教えてくれた。 ・小学生側からみれば、身近な存在、世代が近い、同じような目線で学習を見てくれる等の効果が考えられる。 ・高校生に勉強を覚えてもらうことで、小学生が高校生に憧れを持ち、「勉強を頑張ろう。」という気持ちを持つような効果も考えられる。 <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2025年度（令和7年度）、3校合同で50周年記念式典を行う予定である。（2幼稚園も検討中。）周年行事へ向けて学校運営協議会が中心となって、動き始めている。 	<p style="font-size: 1.2em; font-weight: bold;">当日 報告</p>



6年
卒業式練習
参観
(体育館)



校長室で
金井一郎校長
から学校の状
況を説明

学校園訪問レポート

年月日	令和5年3月8日（水）高丘中学校		
訪問委員	橋本教育委員	随行者	小島学校教育課長
訪問先	訪問内容	学校の特徴・課題等	
高丘中学校	<p style="text-align: center;">校内視察 及び 授業参観</p> <p style="text-align: center;">校長と 面談</p>	<p>□生徒数 378名（1年122名、2年126名、3年122名、特支8名）</p> <p>○学校の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昭和40年代後半、宅地開発により生徒数が急増。昭和50年、市内11番目の中学校として開校した。その後、地域の高齢化が進み、生徒数が減少。現在は各学年120名前後で推移している。 ・2021年度（令和2年度）より、高丘中校区（高丘中、高丘東小、高丘西小）で『高丘小中一貫教育校』がスタートした。 <p>○授業参観</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2年理科（電気）⇒1年家庭科（住まいの空間）⇒1年理科（地層の働き）⇒2年英語（兵庫型システム：1クラスを2つに分けてハーフで授業ALTが授業に参加。） <p>○教育課程の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・短焦点固定式プロジェクターが市内学校に先駆けて、昨年度から各教室に設置されている。教師が授業においてICT機器を有効に活用している。 ・今年度から中学校の英語教員が、高丘東小と高丘西小の2年生に英語の読み聞かせを定期的に行っている。大学との連携研究で、5年間継続する予定である。（2年生の児童が6年生になるまで。） ・今年度は高丘中、高丘西小の2名の教員で、3校の美術と図工の授業を行った。3校の連携という面では、有意義であった。しかし、時間割にきちんと組み込まなければならないので、教員の連絡・引継ぎ等様々な課題がわかった。現在、3校長で今後の方向性を協議している。 ・高丘中にALT（外国語指導助手）が常駐している。各学年の英語の授業に入っている。 <p>○高丘中の主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の新聞販売店が4つの新聞を提供してくれている。生徒玄関においてあり、生徒が手に取って読むことができる。次年度から、クラスの班活動として取り組み、新聞をより有効に活用する計画を立てている。 ・『高丘ノート』を使い、生徒が毎日の学習計画と生活記録の振り返りをしている。 <p>○ALT常勤配置について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常勤であるので授業はもちろん日常生活でも、親近感が持つことができる。 ・普段からALTとコミュニケーションを取ることで、外国語（英語）への『壁』が低いのではないだろうか。（今後、数年後にその効果がわかるのではないか。） ・次年度、学力・学習状況調査で英語が実施される。その中の『話すこと』調査でプレ実施を行ったが、本校は市内学校の中でも話すことへの対応力が高かったと市教委の担当者から高評価をもらった。 <p>○高等学校との連携について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校と明石北高校の連携は、お互いにとって有意義であると思われる。 ・小学校は担任だけではプログラミング教育を進めていくのは、なかなか難しい。そこに高校生の補助が入るのは、授業を進める上で大変助かる。 ・高校生にとっては、自分たちが通った道を確認することができる 人に教えることが学習である ということ、とても有効である。今後、中学校にも高校生が来てもらうことも検討事項である。 <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2025年度（令和7年度）、3校合同で50周年記念式典を行う予定である。周年行事へ向けて学校運営協議会が中心となって、動き始めている。 	
		委員感想・意見	
		当日報告	



2年英語
授業参観
（兵庫型システム：1クラスを2つに分けてハーフで授業ALTが授業に参加。）



校長室で
植垣文夫校長
から学校の状況を説明

児童のプログラミングを支援



小学生にプログラミングを教える
明石北高生 高丘西小 明石市大久保町
高丘7

明石北高生 高丘西小 6年70人が参加

小学生のプログラミング教育を高校生が支援する授業が16日、高丘西小学校で行われた。明石北高校自然科学科の1年生が、実演を交えながら教えた。6年生の約70人が参加。クラスごとに約10人の高校生がサポートに入った。

音や発光ダイオード（LED）の点滅をプログラミングで制御する教材「マイクロビット」を使用。明るさや加速度のセンサーも搭載されており、多様な作品をつくることができる。

まず、マイクロビットと端末を無線でつないで、ライトをつける、消すという基本のプログラミングを確認。その後「もしーならばーする、そうでないならばーする」というひな型に条件

を当てはめていく形で製作していった。

大池望天君（12）は、マイクロビットを傾けると下側だけが光るようにした。「初めはやり方が分からなかったけど、高校生のお兄さんが教えてくれた」と話した。授業の最後には、高校生が作った「吉」「凶」などを

がランダムに表示されるおみくじを披露。児童から拍手が上がった。向悠希さん（16）は「小学生も真剣に取り組んでくれた。素直な姿勢はこちらも勉強になった」と話した。

9日には、高丘東小学校でも同様の授業が行われた。（有富晴貴）

明石北高校SSH事業

明石高丘地区の小中高の児童・生徒による

せいぶつ たようせい

あかし生物多様性フォーラム

3/18(土)

参加者募集

地元高丘の小中高の皆さんによる、 明石の環境や自然をテーマにした発表会！

発表は自然がテーマ
であれば何でもOK
(希望者のみ)

色々な人と、身近
な自然に関して
ディスカッション

地元明石の
自然について
学習・共有しよう！

日程 令和5年3月18日(土)

時間 午前10時～12時(予定)

場所 本校北棟3Fアカデミックルーム

- 内容**
- ①発表〔身近な環境や自然をテーマにした取り組み(授業での取り組み、自由研究やその他)〕
 - ②グループディスカッション(環境や自然に関するテーマでの話し合い)

お問い合わせ



兵庫県立明石北高等学校

Tel : 078-936-9100